

コロナに屈せず活動を継続 新潟県自衛隊家族会総会等支援



新潟地本（本部長 1陸佐 大倉正義）は、5月22日（土）新潟市「新潟東映ホテル」で開催された令和3年度新潟県自衛隊家族会（会長 早川澄男氏）定期総会等を支援しました。

総会は会長の挨拶から始まり、司会を県事務局長（上越市家族会長）横澤順氏が、議長を県副会長（新潟市家族会長）刈屋学氏が務め、議案審議、募集支援にかかる情報提供及び昨年度の募集状況等の説明が行われ、総会は無事終了しました。その後、表彰式では会長より家族会員17名が表彰され、感謝状贈呈式では新潟地方協力本部広報官、陸曹長 平井忠広以下6名にも感謝状が授与されました。感謝状を授与された新潟所の広報官は「今までやってきた努力が報われました。良い評価をいただき大変うれしく思います」と喜んでいました。



令和3年度 新潟県自衛隊家族会定期総会



引き続き、第5施設群長兼高田駐屯地司令（1陸佐 比嘉隼人）による「日本の防衛」と題して防衛講話が行われました。講話は高田駐屯地の沿革を皮切りに昨今の東アジアにおける日本情勢や今後の自衛隊に付与される新たな任務を説明。参加者は真剣な面持ちで耳を傾けていました。講話後、「方々の前線で活躍する自衛官に対してコロナウイルスワクチンの接種はいつ行われるか」「オリンピックの支援で何名の隊員が参加するのか」等といった自衛隊の活動に興味を持った質問が飛び交いました。

新潟地本は今後も協力団体等の活動を支援するとともに募集目標達成に向けて、更に連携を深めていきます。